

第3回C班議事録

日時: 2024年12月2日(月) 13:28 - 15:52

場所: 前橋市中央公民館

参加者

- ・ 前橋市職員
- ・ コーディネーター
- ・ 委員

1. 前回の振り返り

- ・ 少子高齢化の実態
 - 高齢化率約33%、3人に1人が高齢者。
 - 要介護認定者、独り暮らし高齢者世帯、老々介護の増加。
 - 高齢者の孤独と支える側の負担が増加。

2. ありたい姿

- ・ 高齢者が自分らしく生きる選択の自由
 - 孤独を感じない環境。
 - 高齢者が頼られる存在になることが重要。
 - 高齢者を家族に持つ人へのケアも必要。

3. 自分ごと化の重要性

- ・ 構想日本加藤さんの講演について
 - 自分から距離があるほど人ごとになるが、実は自分に関係があること。
 - みんなのことを自分の事にして取り組むことが重要。

4. 社協と町社協の役割

- ・ 地域福祉の推進役

- 社協は地域福祉のプラットフォーム。
- 交流と見守り、支え合いの三理念を軸に活動。
- 画一的な支援ではなくオーダーメイドの支援。

5. 豊田市の事例

- **地域共生社会のキーワード**

- 連携と人材。
- 今あるものをうまく使っていく。
- デジタル技術の活用。

6. アウトリーチの重要性

- **困った市民に専門家が赴く**

- 自分で認識すらできない人への声掛けが福祉の原点。

7. 高齢者の孤独解決策

- **訪問販売**

- 外に出られない人の孤独と困りごとの解決手段。

- **地域の民生委員との連携**

- 民生委員や近所の人が連絡をくれる。

8. 情報の周知方法

- **広報誌や SNS の活用**

- 家の中で情報を回すことが重要。
- 若い世代への情報提供方法の改善。

9. 学校での福祉教育

- **地域包括ケアの教育**

- 子供たちに地域のことを知ってもらう。
- 福祉の話を学校で教える機会の必要性。

10. 改善提案シートの記入

- 目的

- 地域福祉計画の材料として生の声を集める。
- 高齢者特有の属性として、交通関係、医療関係、孤立、デジタル社会への対応が必要。